

09 ツナゲー

～ 仲間と協力しながら、カードをつなげて最長記録を狙え!! ～

このゲームは、手をつなぐのが大好きなツナガリ星人を、どんどん繋げていってあげる遊びです。グループで最長のツナガリを作ろう。

※グループワークや普段の生活で日常的に行われる【情報共有】という行為を、楽しみながら気づきを得ることをねらいとしています。



シマケン

*対象…小学校中学年～

*人数…4人

*時間…40分～

#つながり#ノンバーバル

#協力

用意するもの

つながりボード

つながりピース

※下記URLより、無料でデータをダウンロードし印刷可能です。

<http://www.joypod.net/tunage/>

進め方

※このゲームは、2回行うことを前提として設計されています。

1回目→かく（書く・描く）こと禁止

2回目→話すこと禁止

禁止項目は、ふりかえりを効果的に行うために設定しています。必要なければ、禁止項目を省いてプレイしても問題ありません。

- (1) プレイヤーは、自分のUFOを決めます。
- (2) 32枚のつながりピースをよく混ぜて、4人のプレイヤーそれぞれに、8枚ずつ裏向きに配ります。※手元のカードは、他のプレイヤーに見せてはいけません。（禁止されているコミュニケーションも行えません。）
- (3) ジャンケンをして勝った人から時計回りに、ピースを置いていきます。ピースは、自分と他のUFOがつながるように置いていきます。自分のUFOからつながり星人の手がつながるようにしか置けません。

※1.自分の順番をパスすることはできません。

- ※2.UFOからのつながりが、壁にぶつかるなどして途絶えた場合、そのプレイヤーはゲームオーバーになります。(ピースを置けなくなります。)
- (4) UFOとUFOがつながった場合、つながった2人のプレイヤーは次の順番から空いているマスのどこにでもピースを置くことができます。他のプレイヤーが少しでも長くつながられるように、サポートしましょう。
- (5) 全てのプレイヤーが全ピースを置き終えた時、または、これ以上ピースを置けない状況になった時、ゲーム終了になります。
- (6) 最後に得点を計算します。計算の仕方は、UFOからUFOへつながっているピース1枚分を1点で数えます。※ UFOとUFOがつながっていない場合は、得点になりません。
- (7) より高い合計得点を目指してがんばって下さい。

ふりかえり

- ・チームにリーダーシップはあったか？ 誰がどんな役回りをしたか？
- ・会話禁止状態で互いの想いを伝え合うために工夫したことは何か？そこからの気づきは？
- ・チームごとの攻略の工夫は？ピースに名前をつけたりしたチームはあるか？

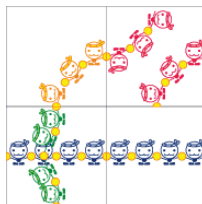
「ツナゲー」は、慶應義塾大学加藤文俊研究会の“ちいさなメディア論”の研究班から生まれたJOYPODというチームが独自に製作したゲームです。2004年日本ゲーミングシュミレーション学会の秋季大会にて学術発表も行っており、他のゲームコンテンツと共に、JOYPODのサイトにてデータを無償公開しております。



[JOYPOD: <http://www.joypod.net>]



つながりボード



つながりピース